

兵庫県のに漁場環境情報 (淡路周辺海域 7号)

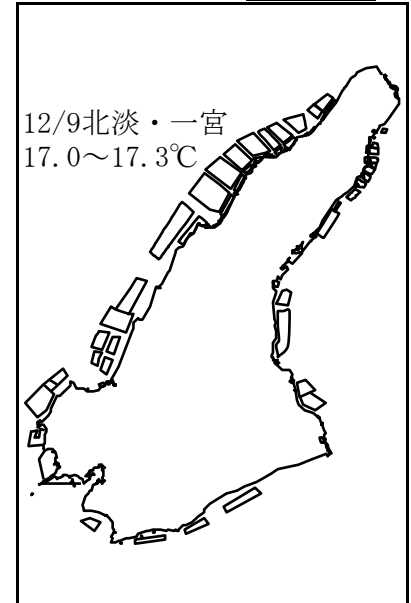
2020年12月11日発行
 兵庫のに研究所

この海域全般に、栄養塩を大量に消費する植物プランクトンは少ない状況にあります。窒素は、淡路東浦海域で概ね $4 \mu\text{g-at/L}$ 前後、淡路西浦海域で概ね $3 \mu\text{g-at/L}$ 台となっています。

(珪藻ほか)

灘漁場ではコシノディスカスが海水1Lあたり100細胞と、この海域としてはやや多く見られ窒素は低い値を示した。それ以外の海域ではコシノディスカスは確認される程度、その他の珪藻はほとんど見られない。窒素は灘漁場を除き、西浦及び南浦海域で $2.6 \sim 3.7 \mu\text{g-at/L}$ 、東浦海域では $3 \mu\text{g-at/L}$ 後半 $\sim 4 \mu\text{g-at/L}$ 台でほぼ前回 (12/2) 調査並みの状況で推移している。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	3.9	4.0	6.4	5.3
	リン	0.54	0.52	0.62	0.52
西浦地先	窒素	2.8	3.3	5.9	5.1
	リン	0.57	0.57	0.66	0.78
南浦地先	窒素	3.5	2.4	5.7	4.8
	リン	0.65	0.43	0.62	0.57

(12/2) (12/13)

栄養塩 (窒素) 図

2020年12月11日調査

